

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI・バンガード・S&P500インデックス・ファンド（愛称：SBI・バンガード・S&P500）」は、2020年9月14日に第1期決算を行いました。

当ファンドは、SBI・バンガード・S&P500インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国の代表的な株価指数であるS&P500指数（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第1期末（2020年9月14日）

基準価額	11,183円
純資産総額	68,992百万円
第1期	
騰落率	11.8%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBI・バンガード・S&P500 インデックス・ファンド (愛称：SBI・バンガード・S&P500)

追加型投信／海外／株式／インデックス型

交付運用報告書

第1期（決算日2020年9月14日）

作成対象期間（2019年9月26日～2020年9月14日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<http://www.sbiam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2019年9月26日～2020年9月14日)



設定日：10,000円

期末：11,833円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰落率：11.8%

(注1) ベンチマークは、S&P500®を委託会社にて円換算しています。詳細はP12をご参照ください。

(注2) ベンチマークは、設定日 (2019年9月26日) の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しております。

(注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

(注4) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

米中通商協議の進展期待や外国為替市場における円安進行に加えて、各国の政府や中央銀行が景気下支えのために拡張的・緩和的な財政金融政策を実施したこと等により、株式市場が上昇したこと等が基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米中通商問題の激化による景気への悪影響のほか、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた世界経済への懸念により株式市場が下落したことや、外国為替市場におけるリスク回避の円高進行等が基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2019年9月26日～2020年9月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	6 円	0.062 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(2)	(0.023)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(2)	(0.023)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	—	—	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	—	—	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	2	0.018	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(0)	(0.005)	開示資料等の作成・印刷費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	8	0.080	
期中の平均基準価額は、10,436円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

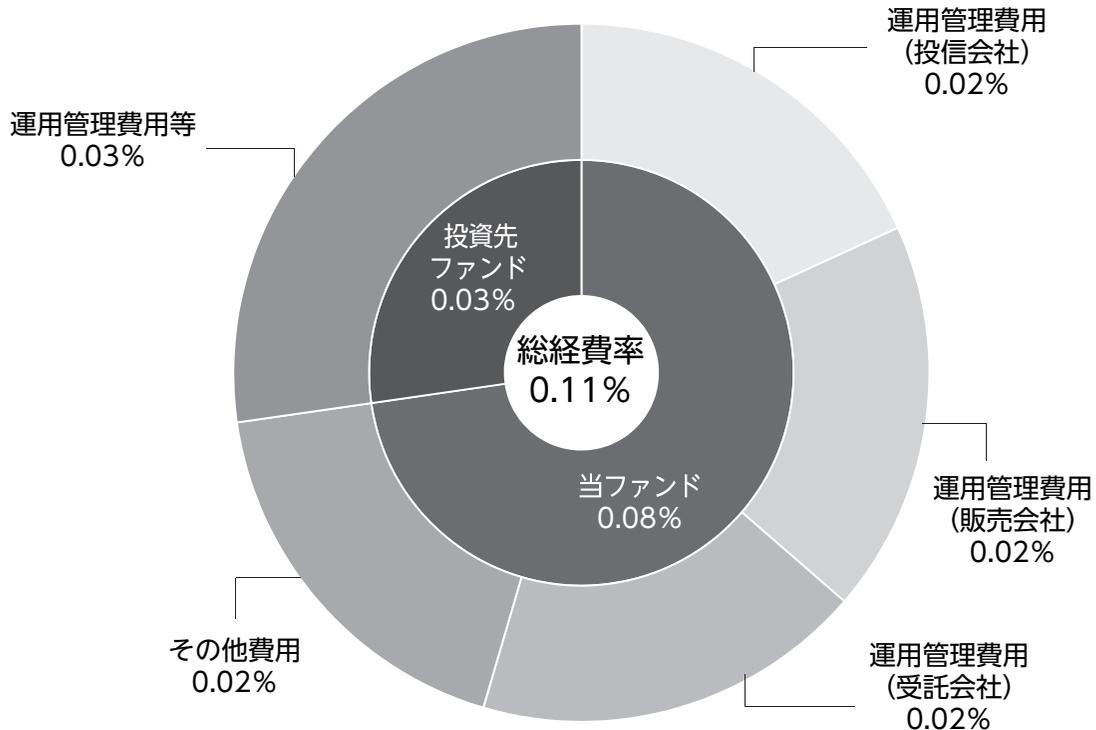
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.11%です。



経費率 (①+②)	0.11%
①当ファンドの費用の比率	0.08%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

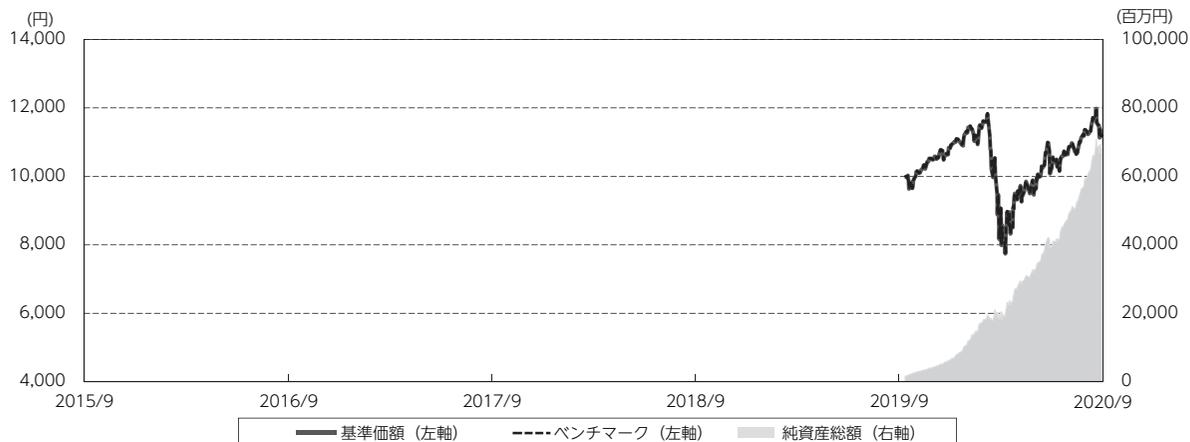
(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年9月26日～2020年9月14日)



(注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ(2019年9月26日から2020年9月14日)のみの記載となっております。

(注2) ベンチマークは、S&P500®を委託会社にて円換算しています。詳細はP12をご参照ください。

(注3) ベンチマークは、設定日(2019年9月26日)の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しております。

(注4) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

(注5) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

	2019年9月26日 設定日	2020年9月14日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,183
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0
基準価額騰落率 (%)	—	11.8
ベンチマーク騰落率 (%)	—	11.9
純資産総額 (百万円)	1,638	68,992

(注1) ベンチマークは、S&P500®を委託会社にて円換算しています。詳細はP12をご参照ください。

(注2) ベンチマークは、設定日(2019年9月26日)の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しております。

(注3) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

(注4) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注5) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2020年9月14日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2019年9月26日～2020年9月14日)

<米国株式市場>

当期は、2019年10月以降、英国による欧州連合（EU）離脱の合意期待の高まりに加えて、米中通商協議の進展期待が高まったことから、米国株式市場は上昇基調となりました。しかし、その後は米中通商協議の進展期待の後退や香港情勢の緊迫化、中国の経済指標の弱さなどが嫌気され、調整しました。また、米国で香港人権法案が可決されると、米中関係悪化への警戒から大きく売られたものの、その後は、米中首脳による通商協議に対する前向きな発言が伝わり、2020年1月に「第1段階の合意」が達成されたことを受けて、高値圏で推移しました。

米国株式市場は2月半ばまでは堅調な展開だったものの、2月下旬以降は、中国が発生源とされる新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、中国以外の先進国や新興国などで都市封鎖（ロックダウン）や経済活動が停止されると、急落しました。米国株式市場は3月半ばにかけて続落し、当ファンドの基準価額は3月24日に当期の最安値である7,742円を付けました。その後は主要国の財政金融政策などの下支えにより過度な懸念が後退し、3月下旬以降は反発基調が継続しました。しかし、5月に入ると、トランプ米大統領による中国批判や対中追加関税の示唆など、新型コロナウイルスをめぐる米中関係の緊張の高まりにより、一時的に調整しました。しかしながら、6月にかけては市場予想を上回る米経済指標や米企業収益の上方修正が相場反発の原動力となり、米国株式市場は再び上昇基調となり、当ファンドの基準価額も大きく反発しました。6月下旬以降は、米国における新型コロナウイルスの感染者数が大幅に増加し、早期の景気回復期待が後退したことにより、一進一退の展開となりました。7月以降、期末にかけては、米中対立の懸念が再燃し、外国為替市場ではドル安・円高が進行したことから、やや軟調な展開となりました。8月以降の米国株式市場は、大型のハイテク株やテクノロジー株主導で再び上昇基調となり、当ファンドの基準価額は9月3日に当期の最高値である11,978円を付けました。当期末にかけては米国のハイテク株の急落によりやや調整したものの、当ファンドの基準価額は、設定来で+11.8%の11,183円で当期末を迎えました。

<外国為替市場>

ドル/円は、2019年10月上旬に発表された米経済指標の悪化を受けて、再びドル売りが入り106円台まで円高が進みました。10月以降は、米中通商協議の進展期待、英国とEU間での離脱合意期待の高まり、米国の長期金利上昇などを受けて、ドル買い円売りが進み、109円台半ばまで上昇後、株式市場の下落などにより108円台まで下落しました。

年明け以降は、中東情勢緊迫化により一時107円台まで円高が進行したものの、米中関係の改善期待や堅調な米経済指標を受けて110円台まで円安が進みました。しかしながら、その後は中国における新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、リスク回避の動きから108円台前半まで下落しました。2020年2月以降は、中国の経済対策や株高を受けて112円台前半まで急速に円安が進んだものの、新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な株安・金利低下を背景に一転して円高となり、さらに原油安や米国の景気後退懸念による株式市場の急落を受けたドル安・円高により、一時101円台を付けました。その後は、米長期金利の上昇などにより一転してドル買いとなり、一時111円台まで円安が進行しました。3月下旬以降は、米国の量的緩和策導入により米長期金利が低下したことに加えて、各国による景気刺

激策による下支えにより、金融市場が落ち着きを取り戻したことから、概ね107円台から109円台で推移しました。5月以降は、トランプ米大統領による中国批判や対中追加関税の示唆など、新型コロナウイルスをめぐる米中関係の緊張の高まりにより、株安・円高が進行し、一時106円台を付けたものの、その後は欧米での都市封鎖の緩和などが好感され、107円台後半まで上昇しました。6月以降は、新型コロナウイルス感染第2波への警戒感による株安などにより、一時106円台を付けた後、米中対立の激化懸念や米金融緩和の長期化観測などからドル安が進行し、7月末にかけては一時104円台前半まで下落しました。しかし、その後は月末のポジション調整の動きなどから急速に円安・ドル高に反転し、株高も好感されて107円台まで上昇しました。8月下旬には、安倍首相辞任報道で一気に106円前半まで円高が進みましたが、その後は値動きの荒い展開となり、期末にかけては、105円から106円台のレンジで一進一退の推移となり、当期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年9月26日～2020年9月14日)

<当ファンド>

ベンチマークである「S&P500指数 (円換算ベース)」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象であるSBI・バンガード・S&P500インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

<SBI・バンガード・S&P500インデックス・マザーファンド>

ベンチマークである「S&P500指数 (円換算ベース)」に連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、バンガードが運用を行う「バンガード®・S&P500 ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

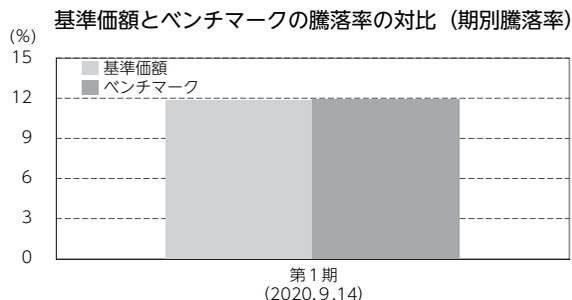
なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は99.6%となっております。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年9月26日～2020年9月14日)

期中における基準価額は、11.8%の上昇となり、ベンチマークである「S&P500指数 (円換算ベース)」の騰落率である11.9%をおおむね0.1%下回りました。

主な要因としては、マザーファンドにおける投資先ETFからの分配金に対する課税、当ファンドにおける信託報酬等の要因があげられます。



(注) ベンチマークはS&P500指数 (円換算ベース) です。詳細はP12をご参照ください。

分配金

(2019年9月26日～2020年9月14日)

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第1期
	2019年9月26日～ 2020年9月14日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,182

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**<当ファンド>**

引き続き、ベンチマークである「S&P500指数(円換算ベース)」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象であるSBI・バンガード・S&P500インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。また、現金比率を極力抑え連動率を高めていく所存です。

<SBI・バンガード・S&P500インデックス・マザーファンド>

引き続き、「バンガード®・S&P500 ETF」を主要投資対象とし、ベンチマークである「S&P500指数(円換算ベース)」に連動する投資成果をめざして運用を行います。

お知らせ

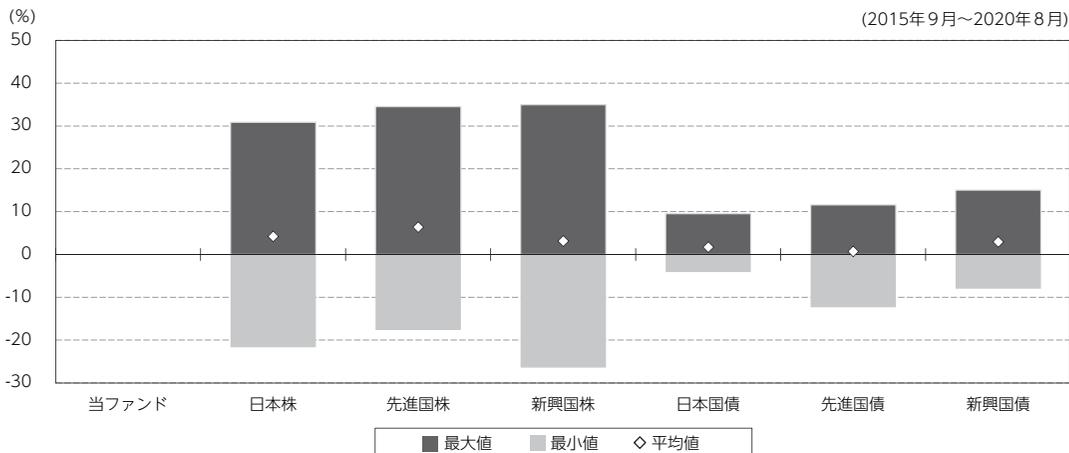
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限（設定日：2019年9月26日）	
運用方針	SBI・バンガード・S&P500インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国の代表的な株価指数であるS&P500指数（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド （ベビーファンド）	SBI・バンガード・S&P500インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド （ベビーファンド）	SBI・バンガード・S&P500インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国の代表的な株価指数であるS&P500指数（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、米国の代表的な株価指数であるS&P500指数（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回（毎年9月14日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価損益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	30.9	34.5	35.0	9.5	11.6	15.0
最小値	-	△ 21.7	△ 17.6	△ 26.4	△ 4.1	△ 12.3	△ 8.0
平均値	-	4.2	6.4	3.1	1.7	0.7	2.9

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2015年9月から2020年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては、直近1年間の騰落率データがないため掲載しておりません。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P12の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2020年9月14日現在)

○組入上位ファンド

銘柄名	第1期末
	%
SBI・バンガード・S&P500インデックス・マザーファンド	100.3
組入銘柄数	1銘柄

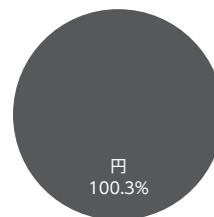
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

○資産別配分

○国別配分

○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

純資産等

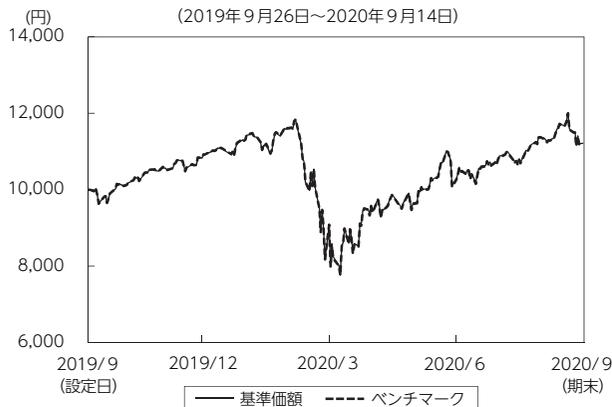
項目	第1期末
	2020年9月14日
純資産総額	68,992,953,022円
受益権総口数	61,696,964,107口
1万口当たり基準価額	11,183円

(注) 期中における追加設定元本額は78,034,979,470円、同解約元本額は17,976,327,385円です。

組入上位ファンドの概要

SBI・バンガード・S&P500インデックス・マザーファンド

【基準価額及びベンチマークの推移】



- (注1) ベンチマークは、S&P500®を委託会社にて円換算しています。詳細はP12をご参照ください。
(注2) ベンチマークは、設定日(2019年9月26日)の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しております。
(注3) ベンチマークの値は取引所の営業日に準じて算出しています。

【1万口当たりの費用明細】

(2019年9月26日～2020年9月14日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	－円	－%
(b) 有価証券取引税	－	－
(c) その他費用 (保管費用)	1 (1)	0.010 (0.010)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	1	0.010
平均基準価額は、10,450円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

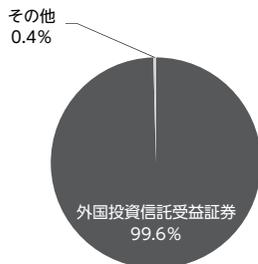
【組入上位ファンド】

(2020年9月14日現在)

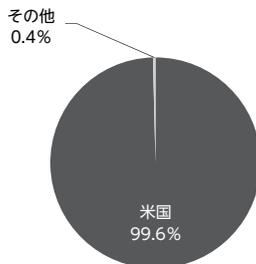
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	VANGUARD S&P 500 ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	99.6%
組入銘柄数				1銘柄	

- (注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

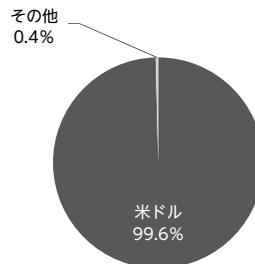
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- (注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2020年9月14日現在のものです。
(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。
(注3) 国別配分は株式評価額に対する比率です。
(注4) 国別配分は発行国を表示しております。

<当ファンドのベンチマークについて>

ベンチマークは、S&P500[®]を委託会社にて円換算しています。

OS&P500[®]

S&P500[®]は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している、米国の代表的な株価指数の1つです。ニューヨーク証券取引所、NASDAQ等に上場している銘柄から代表的な500銘柄を時価総額で加重平均し指数化しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式指数 (除く日本) は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数 (除く日本) は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社(これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います)が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス(以下「Morningstarインデックス」と言います)の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び/又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害(逸失利益を含む)について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

「Vanguard」(日本語での「バンガード」を含む) および「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc.が有し、SBIアセットマネジメント株式会社および承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。また、本ファンドは、The Vanguard Group, Inc.およびVanguard Investments Japan, Ltd.より提供、保証または販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。したがって、The Vanguard Group, Inc.およびVanguard Investments Japan, Ltd.は本ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

S&P500®は、S&P Globalの一部門であるS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社(「SPDJ」)の商品であり、これを利用するライセンスがSBIアセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®は、S&P Globalの一部門であるStandard & Poor's Financial Services LLC(「S&P」)の登録商標で、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスがSBIアセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。本ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切の責任を負いません。